

美しい夜景都市

国の内外を問わず、その夜景の美しさと魅力については、趣味、美的感覚、好み、鼻屑もあり、その評価は諸説紛々である。日本では通常函館、神戸、長崎を三大夜景都市とみてほぼ間違いないようだ。ところが、外国の夜景となると他国の夜景を実際には見ていないことや、お国自慢もあり、必ずしも客観的評価は一定していない。概して水面に光が反射する美景が点数を稼ぐことから、どうしても臨港都市が有利になりがちである。その点で三大夜景ならぬ、三大美港などとも呼ばれる。

香港、ナポリ、シドニー、サンフランシスコ、リオ・デ・ジャネイロ、等は毎度世界三大夜景候補地の常連である。いずれもオーシャンフロントで、市街に高層建築が聳え、夜ともなると煌々たるネオンが光り、後背地には暗黒の山が控えている。これを後背の山の上から眺めるとというのが、採点の基準のようである。筆者が見るところ前記の都市群は、その夜景美においていずれも甲乙つけがたい。しかし、ケープタウンで世界を渡り歩いた地元の人から、「ケープタウンの夜景は世界一美しい」と聞き、日の落ちるのを待って見学に出かけた。夜景を前に「う～ん！」と唸らざるを得なかった。何と海面に映えるネオンの明かり、市街の煌々たるライフラインの照明、これに加えて市街を囲むテーブルマウンテンの岩肌に、広大なライトアップが仕掛けられてあったのだ。凹凸をつけ立体的で、アートの手法を用いたアフリカの最南端都市は、断然「世界一の夜景芸術都市」だった。